

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与する。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与する。

参加・体験事業

(1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 予算額 2,000千円)

1 子どものための文芸コンクール「書こう！きみの物語」

小中学生を対象に童話、児童文学、小説の創作作品を公募し、入賞作品に賞を授与する。入賞作品はウェブサイトで公開するとともに、作品集を刊行する。
作品募集期間／2025年7月～9月 選考／文芸関係者 授賞式／2025年12月

2 コトノハなごや

名古屋にまつわる写真から想起される短編の創作作品を公募し、入賞作品に賞を授与する。入賞作品はウェブサイトで公開するとともに、作品集を刊行する。あわせて、選考委員が入賞作品の講評や文芸の魅力語る関連イベント「コトノハなごやサロン」を開催する。
作品募集期間／2025年7月～8月 選考／文芸関係者 コトノハなごやサロン／2025年12月

(2) 学生参加事業 (補助金事業 予算額 4,100千円)

NAGOYA GROOVIN SUMMER 2025

学生の文化芸術活動を支援するため、学生参加型の事業として、地元で活動する中高生のジャズビッグバンドが多数出演する音楽イベントを開催。ゲストと学生が共演するステージを実施することで、次世代を担う学生に良い刺激を与える場を提供する。なお、今回から岡谷鋼機株式会社に協賛していただく。

日程／2025年8月9日(土)～10日(日)〈4回〉 会場／アマノ芸術創造センター名古屋
出演／ゲストアーティスト、日本学校ジャズ教育協会(JAJE)中部支部所属の学生団体

(3) 子どもアートランド (補助金事業 予算額 7,050千円)

「子どもアート万博」「子どもアートピア」に続く、地域と連携した子ども向け参加体験イベントを実施する。2回目となる今回は、東文化小劇場・市民ギャラリー矢田を中心に、近隣の大学等と連携し、音とアートをテーマにした公演やワークショップを通じて、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけをつくる。

日程／2025年12月20日(土)～21日(日) 会場／東文化小劇場、市民ギャラリー矢田
出演／セントラル愛知交響楽団 他 協力／名城大学、名古屋文化短期大学、名古屋造形大学

(4) 子ども美術展 (自主財源事業 予算額 800千円)

子ども名画展～なごやのまち～

名古屋市内の名所やランドマーク施設などで開催されている子ども向け絵画コンクール(写生大会)の優秀作品を、名古屋の中心地に位置する市民ギャラリー栄に集めて再展示する。

日程／2026年1月6日(火)～11日(日) 会場／市民ギャラリー栄
出品予定施設／名古屋港、農業文化園・戸田川緑地、東谷山フルーツパーク、鶴舞公園
名古屋市科学館 他

(5) NAGOYA NOH THEATER (補助金事業 予算額 13,000千円) 【新規】

名古屋能楽堂を起点に、能楽を中心とする名古屋に息づく伝統芸能を、デジタルコンテンツを活用して発信。名古屋城や名古屋の中心部を訪れる多くの観光客や若い世代が、能楽を中心とする伝統芸能に気軽に触れられる機会とする。

1 能楽いつでもWatch

観光施設の側面を持つ能楽堂で、いつでも能楽を体験できるデジタルコンテンツを制作し、来場を促す。

2 能楽まちなかWatch

名古屋市内のにぎわいのある会場において、能楽のステージを実施。また、能楽を中心とする伝統芸能の体験コーナーを設け、気軽に触れる機会を通じて、能楽堂への来場を促す。

日程/2025年9月13日(土) 会場/オアシス21 銀河の広場

鑑賞事業

(1) なごや子どものための巡回劇場 (補助金事業 予算額 9,000千円)

演劇、人形劇、音楽劇、管弦楽、バレエ等の本格的な公演を、子どもたちに身近な会場(文化小劇場など)にて、低料金で開催する。

時期/夏休み、春休みなど小学校等の休日における昼間。

公演回数/32公演

出演/名古屋フィルハーモニー交響楽団 はじめ6団体 共催/名古屋市

(2) 子どもに贈る文化芸術体験提供事業 こんにちは! 子どもTouch

(自主財源事業 予算額 2,000千円)

養護施設や母子生活支援施設など、諸事情で劇場に足を運ぶことが困難な子どもたちに文化芸術を届けるアウトリーチ事業を開催する。社会福祉協議会等と連携し、子育て支援団体等を対象としたアウトリーチ先の開拓に取り組む。

時期/通年

会場/名古屋市内の児童養護施設、母子生活支援施設、小児病棟、子ども食堂等

実施回数/10回

出演/名古屋地域の児童劇団、管弦楽団団員、Nagoya POP UP ARTIST認定アーティスト等

(3) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 予算額 9,455千円)

大中規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催する。

1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会

日程/2025年5月15日(木)〈1回〉 会場/Niterra日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

2 人形浄瑠璃「文楽」

日程/2025年11月20日(木)〈2回〉 会場/アマノ芸術創造センター名古屋

(4) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 予算額 1,220千円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供する。年間に3回程度実施し、約2,000枚を提供。

友の会事業 (自主財源事業 予算額7,553千円)

1 会員向けの落語会等を開催する。

2 催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を発行する。

3 事業団主催事業などの会員向け先行予約や割引を実施する。

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与する。

(1) 総合舞台芸術公演 (補助金事業 予算額 34,814千円)

名古屋市文化振興事業団2026年企画公演ミュージカル「赤毛のアン」

度重なる困難の中にあってもひたむきに生き、未来をつかみとっていく少女の姿を描いた「赤毛のアン」のミュージカル作品を、若手の舞台芸術関係者を中心としたスタッフ・キャストで制作・上演する。

日程／2026年1月23日(金)～25日(日)〈6回〉 会場／青少年文化センター

上演台本・演出／平野智子 音楽監督・指揮／柴田 祥

管弦楽／当公演のために若手中心に特別に編成するオーケストラ

出演者／オーディションで決定

支援事業／「赤毛のアン」支援プロジェクトとして、オーディション不合格者の活動の場、セルフマネジメントを学習する場として、アウトリーチコンサートへの出演やフロントスタッフを依頼する。さらに今回は、音楽大学卒業後の活動支援として、ピアニストが稽古場で伴奏ピアノの技法を学び、その後の活動につなげる機会を設ける。

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展 2026

(補助金事業 予算額 2,600千円)

次世代を担う企画者・美術家からのアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て、文化芸術の新たな発信源となるような意欲的な美術展を開催する。なお、会場監視員を芸術大学の学生に依頼するなど、若い世代のセルフマネジメントにつながる実践の場として活用する。

日程／2026年1月9日(金)～18日(日) 会場／市民ギャラリー矢田

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 予算額 4,044千円)

DANCE BATTLE —FLAMENCO vs TAP—

鉄のついた靴の足でリズムをつくり出すという共通点を持つが、ルーツが全く異なるフラメンコとタップダンス。それぞれの魅力をぶつけ合うダンスバトルと、コラボレーションによる新しい融合を、生演奏に乗せて上演する。

日程／2026年2月14日(土)〈1回〉 会場／青少年文化センター

出演／加藤おりは、市川ミサオ 他

(4) 名古屋市民芸術祭 2025 (補助金事業 予算額 5,700千円)

総合的な芸術の祭典として、2025年10月～11月に名古屋市民芸術祭2025を開催する。

1 主催事業

①名古屋いけばな芸術展2025

日程／2025年10月21日(火)～26日(日) 会場／市民ギャラリー栄

②名古屋市民美術展

日程／2025年11月25日(火)～30日(日) 会場／市民ギャラリー栄

2 参加事業

コンペティションとして20公演が参加。

賞／名古屋市民芸術祭賞、名古屋市民芸術祭特別賞

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭DOORS 〈実行委員会形式〉

(負担金事業 予算額 16,500千円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭DOORS」(2025年10月25日(土)～11月16日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「まちなか芸披露」として、舞台公演を制作する「舞台鑑賞事業」2公演と、まちなかで気軽に伝統芸能に触れていただく「まちなか鑑賞事業」及び「体験事業」を実施する。

1 まちなか芸披露・舞台鑑賞事業

①能楽公演

日程／2025年11月1日(土)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂

子どもや初めて能・狂言に触れる方にも親しみやすい演目を上演し、ビギナーにも分かりやすい解説付きのプログラムを作成することで、世代を問わず楽しんでもらえる公演を実施。

②新作日本舞踊公演

日程／2025年11月8日(土)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂

日本舞踊の継承と新たな魅力発信のため、流派の垣根を超えた若手舞踊家のオリジナル振付・演出による新作日本舞踊と、未来を担う子ども舞踊家のショーケース作品を創作し上演する。
出演／結noKAI(名古屋日本舞踊協会若手ユニット)他

2 まちなか芸披露・まちなか鑑賞事業及び体験事業

辻狂言、ストリート歌舞伎、お座敷ライブなど、伝統芸能のプログラムを実施。

日程／開催期間中

会場／まちなか(名古屋・栄など)、料亭、寺社等

(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST 〈実行委員会形式〉

(負担金事業 予算額 1,400千円)

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに貢献するため、公募によるオーディションで、地下鉄駅や商業施設等で自由にパフォーマンスができるライセンスを合格者に発行する。

日程／通年 会場／市内16施設

認定アーティスト数／累計132組 ライセンス期間／1年

(7) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 予算額 5,110千円)

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出する。

受注目標／6件程度

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムを活用し、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを運営する。

販売枚数／40,000枚程度

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドに設ける。

相談件数／250件程度

(8) 名古屋市文化振興事業団芸術創造賞 (自主財源事業 予算額 868千円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋市域の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人(団体)を選考し、芸術創造賞を授与する。

選考会／2025年6月 授賞件数／2件 授賞式／2025年8月

(9) 名古屋市文化振興事業団演劇賞 (自主財源事業 予算額520千円)

名古屋女性演劇賞

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋市域の演劇の振興に寄与し、今後とも活躍が期待できる女性演劇関係者(個人)を選考し、名古屋女性演劇賞を授与する。

選考会／2026年1月 授賞件数／1件 授賞式／2026年3月

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図る。

(1) 文化情報誌の発行（補助金事業 予算額 2,604千円）

「なごや文化情報」（12ページ）を発行し、名古屋市域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供する。

発行部数／8,000部

発行回数／4回（季刊）

(2) 文化情報ひろばの運営（補助金事業 予算額 7,365千円）

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、文化芸術関係の図書の閲覧コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営する。

(3) 能楽堂PRグッズの制作（自主財源事業 予算額 5,050千円）【新規】

能楽のキャラクターを開発するとともに、商用グッズ化して販売することにより、名古屋能楽堂の観光施設としてのPRや、能楽の魅力を発信する。

4 文化活動拠点づくりのための施設運営事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行う。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を通して、市民の文化活動を支援する。

※以下の施設は工事のため休館予定。

4月1日～6月23日	天白文化小劇場	4月1日～6月30日	東文化小劇場・市民ギャラリー矢田
9月20日～1月16日	南文化小劇場	11月1日～2月9日	中村文化小劇場
1月4日～1月31日	守山文化小劇場	1月13日～2月28日	熱田文化小劇場
2月2日～2月28日	瑞穂文化小劇場		

(2) 施設事業

上記の23施設において、380事業を実施予定。代表的な事業は下記の通り。

1 舞台公演等創造事業

音楽、舞踊、演劇など多彩な公演を制作し、名古屋の文化基盤を強化するとともに、市内外に発信する。

① アートピアクリエイティブステージ（青少年文化センター）

文化芸術活動に打ち込む青少年に、プロのアーティストとのコラボレーションの場を提供する。ゲストと学生が共演するステージを実施することで、次世代を担う学生に良い刺激を与える場を提供する。

② 地域公共劇場連携事業「りすん 2025 edition」リ・クリエイションツアー

（千種文化小劇場・演劇練習館）

芥川賞作家・諏訪哲史の小説を、故・天野天街が舞台作品にした意欲作を再構築し、岡山県芸術創造劇場、多治見市バロー文化ホール、伊丹市立演劇ホール、KAAT神奈川芸術劇場と連携して制作する。

③ Nagoya Theatre Performer Project (NTPP)（中村文化小劇場・演劇練習館）

出演者は中学生から22歳までの演劇に興味のある方を公募し、この地域で活躍するアーティストを講師・音楽監督に招き、一から演劇を創り上げる。

2 地域コミュニティ創出事業

文化芸術活動を通して、地域コミュニティの活性化を図り、地域社会の課題解決に取り組む。

① 劇場パートナーの運営（文化小劇場、市民ギャラリー矢田）

各文化小劇場において、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる多様なジャンルの実演団体を運営する。

② ボランティア研修（アマノ芸術創造センター名古屋、青少年文化センター）

複数の劇場ボランティアが連携し、劇場運営にご意見をいただくほか、研修会を通じて交流を促し、劇場を市民が集う場にする。

3 バリアフリー事業

チケット割引や鑑賞サポート等により、年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず誰もが参加できる事業を実施する。

① スマイルギフト（全ホール施設）

経済的な支援を必要とする子どもたちを公演に招待する。

② 多文化共生事業（港文化小劇場）

やさしい日本語を用いた公演など、外国籍の方に“言語の壁”を感じさせない演目を上演し、日本の文化への親しみや理解を深める機会とする。

③ 車いすダンス公演（千種文化小劇場）

段差のないバリアフリーな劇場の特長を生かし、障がいの有無に関わらず、それぞれが得意な表現で披露するダンス公演を開催する。

4 文化芸術体験事業

質の高い文化芸術を鑑賞したり体験することを通じて、文化芸術に親しむ人の中・長期的に育てる事業を実施する。

① みる・まなぶ・ダンス！（全文化小劇場／アウトリーチ）

名古屋市立の全幼稚園を対象に、コンテンポラリーダンスのワークショップを開催し、協調性やコミュニケーション能力を養う機会とする。

② 夏休み子どもミュージカル講座（中村文化小劇場・演劇練習館）

夏休み期間中に、子どもたちがプロから音楽・ダンス・演劇を学び、舞台に立つ機会を提供する。

③ プロに学ぶ演劇講座（天白文化小劇場）

名古屋で活躍するプロの俳優による、初心者でも参加できる演劇講座を開催し、最終日にはホールでの発表の場を設けることで、演劇文化の土台づくりに貢献する。

5 支援育成事業

新進芸術家の育成を視野に入れた事業を展開し、名古屋の文化芸術の発展に寄与する。

① バレエアカデミー（アマノ芸術創造センター名古屋）

バレエを学ぶ若い世代を対象に、各バレエ団等の垣根を超えて、質の高い指導を受ける機会を提供し、次世代の育成を図る。

② 能楽インターンシップ（名古屋能楽堂）

能楽の世界に進みたい学生等が、プロの能楽師が開設する稽古場での指導を体験するインターンシップ型事業を実施する。

③ 次世代アーティスト企画展（市民ギャラリー栄）

若手アーティストをピックアップし、次世代アーティスト企画として個展を開催する。